

甲佐町議会だより



清流

第160号

平成29年2月15日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 緒方 哲哉

12月定例会



条例案件、各会計補正予算、人事案件 他

.....②～③

そこが知りたいQ & A.....④

一般質問4人.....⑤～⑧

議員行政視察研修報告 他.....⑨

町民の声 他.....⑩

成人式の記念撮影風景
(H29. 1. 8)

12月
定例会

乙女小学校復旧工事の 請負契約が締結

平成28年第4回定例会は、12月9日に開会し、13日まで5日間の会期で開かれました。

初日には奥名克美町長が町提案案件の提案理由を述べました。

一般質問には4議員が町震災復興、ICT導入、甲佐高校の方向性、税の徴収状況、人口減少対策、地震・豪雨災

害、道路問題等について活発な議論を展開しました。

議案審議では、乙女小学校復旧工事請負契約の締結、甲佐町税条例の改正、一般会計補正予算など9議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

また、人権擁護委員候補者の推薦、甲佐町教育委員会委員の任命に全会一致で同意しました。

条例関係

甲佐町税条例の一部改正について

外国居住者等の特例適用利子等及び特例適用配当等の額に係る所得について税率を3%分離課税とし、町民税の所得割とする改正であり、全会一致で可決した。

び軽減判定に用いる総所得金額とする改正で、全会一致で可決した。

甲佐町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農地利用最適化交付金事業が創設され、農地利用最適化交付金事業を実施するにあたり、本条例の一部を改正するものであり、全会一致で可決した。

甲佐町国民健康保険税条例の一部改正について

町民税で分離課税される外国居住者等の特例適用利子等の額を国民健康保険税の所得割の算定及

その他案件

乙女小復旧工事請負契約の締結について

熊本地震により被災した乙女小学校復旧工事に

において、契約金額1億4310万円、契約相手先八代市(株)松島建設とする請負契約を全会一致で可決した。

指定管理者に(株)くまもと健康支援研究所を指定

甲佐町総合保健福祉センター施設の一部、フィットネスセンター等について指定管理者の指定とし、指定期間を平成29年4月1日から平成32年3月31日とすることに全会一致で可決した。

国会への意見書提出

「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」の提出について全会一致で可決した。



乙女小学校

予算関係

平成28年度一般会計
補正予算(第7号)

今回の補正は、既定予算135億6129万6千円に42億807万3千円を追加し、総額177億6936万9千円と定める予算を全会一致で可決しました。

平成28年度国民健康
保険特別会計補正予
算(第3号)

今回の補正は、主に歳入の保険基盤安定繰入金
の減額により、既定予算
20億6290万7千円に
341万7千円を減額し、
予算総額20億5949万

円と定める予算を、全会
一致で可決した。

平成28年度介護保険
特別会計補正予算
(第2号)

今回の補正は、主に保
険給付の居宅介護サービ
ス施設が地域密着型通所
介護サービス施設に移行
したことに伴うもので既
定予算14億7912万6
千円に4052万4千円
を増額し、予算総額15億
1965万円と定める予
算を、全会一致で可決し
た。

平成28年度水道事業
会計補正予算(第1
号)

収益的収入に642万
円を増額し、1億564
2万5千円とし、収益的
支出に1361万7千円
を増額し、1億6362
万2千円とする補正を全
会一致で可決した。

人事関係

人権擁護委員に
沼田峰子さん(再任)

人権擁護委員の沼田峰
子さん(北原)が平成29
年3月31日に任期満了と
なることから、引き続き
再任することを全会一致
で可決した。

甲佐町教育委員会委員に
福田欣一さん(任命)



福田欣一さん

甲佐町教育委員会委員
の西坂登さん(中山)が
平成28年11月30日付けで
辞職されたことから、福
田欣一さん(麻生原)を
任命することを全会一致
で同意した。



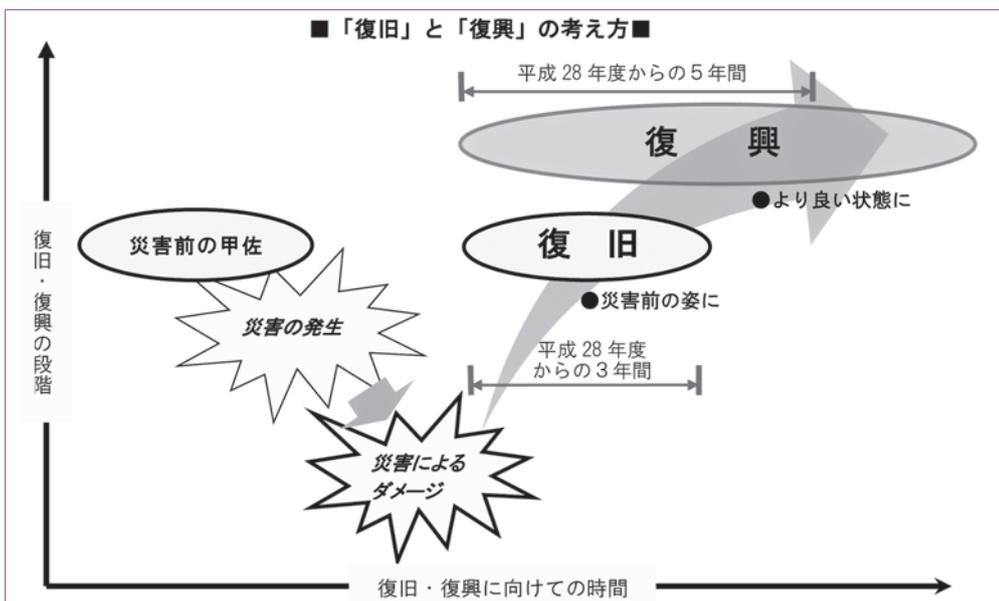
災害公営住宅の建設
について

熊本地震で被災された
方々の内、自立再建が難
しい、又は困難な方々の
住まいの受け皿として災
害公営住宅建設の予算を
12月定例会に提案。
建設予定戸数は全体で
50戸で、甲佐地区(下豊
内)に30戸、乙女地区
(田原)に10戸、白旗地区
(芝原)に10戸を予定して
いる。なお、甲佐地区
(下豊内)には子育て支援
住宅(30戸/50戸)と防
災公園も検討している。

甲佐町震災復興計画
の策定について

「被災された方々の痛
みを最小化すること」を
目指し、「単に元あった
姿に戻すだけでなく、創

造的な復興を目指すこ
と」の考え方を踏襲して、
これからの3年間で災害
前に戻す「復旧」とこれ
からの5年間でより良い
状態にする「復興」とす
る計画を策定しています。



“復旧と復興”の考え方

そこが 知りたい

Q & A

12月定例会
質疑から

総合保健福祉センター 指定管理者に ついて

Q 現在運営されている事業者と一緒にするのか。

A 昨年度モデル事業を実施し委託した事業者も今回の指定管理者と指定した株式会社くまもと健康支援研究所である。

子育て支援住宅

Q 復興計画とともに子育て支援住宅の建設を予定されているがどのように考えられているか。

A 現在設置方法や運営方法等は検討しているが、基本的には賃貸借の建物を建設予定で、子育て期間に本町で住居を構えていただいて本町を理解してもらい住宅を自ら建ててもらいたいと考えている。

観光案内看板設置 工事

Q 本年度予算で減額してあるが29年度には実施できるのか。

A 1000万円減額しているが27年度からの繰越事業でサイン計画という町全体の統一した観光ルートであるとか、看板を設置する箇所等を実施していたが、地震の影響でサイン計画をまだ置きたいと考えている。



フィットネスセンター完成予想図



役場玄関前の観光案内看板



液状化の状況写真（芝原団地）

宅地液状化防止事業

Q 事業内容と対象地域は。

A 芝原地区において液状化の現象がでている。液状化の原因を調査し対策の検討をしている。

一般質問

一部損壊被災者を含めて支援を

町長 プレミアム商品券を研究してみたい



佐野 安春 議員

問 被災後、8カ月になる。町に贈られた義援金は、一部損壊被災者を含めて支援を考えて頂きたい。復興計画では、全壊から一部損壊までの被災数は1977棟となっている。益城町は一部損壊まで支援とある。八代市は一部損壊に独自見舞金を支給する。財源は市への義援金とふるさと納税基金からとある。八代市のような支援のあり方は甲佐町でも可能であると思うが如何か。

奥名町長

町の寄せられている義援金は2283万7487円。一部損壊から全壊までの被害が多数あることから仮に配分しても期

待される支援は疑問もある。最終的には配分委員会で議論して思っている。復興計画の中にもあるが、プレミアム商品券を研究してみたい。



地割れを覆うブルーシート

教室不足をいち早く改善して

問 甲佐小学校で、次年度新入生の教室が不足すると聞か、状況の説明を。

荒田学校教育課長

小学校一年生の学級編制は35人となっており、新入生が35人を超えた場

合は2クラスになる。29年度に入学する児童は39人で2クラスが予定されているので、教室については何らかの対応が必要。

問 教室が不足するから、音楽室を利用して教室にする

と聞いています。学校側は音楽室の代わりとなる教室をどうするか苦慮されている。代用音楽室は、体育館内のスペースで体育館の振動や音で音楽の授業は難しいということだった。体育館内のスペースを音楽教室とした場合、音楽授業ができる補強をして万全を期す必要があるが、如何か。

荒田学校教育課長

音楽室を来年度においては、一時、普通教室に変更して利用したいと考えています。

音楽室については、体育館内のミーティングルームを学校側は考えているところだが、以前、家庭科教室も案の一つとしてあり、どちらが良いのか、学校側と協議して

決めたい。

議員 やはり、普通教室として音楽教室を代用して使わないで、普通教室として増築をする必要があると思う。

震災復興計画の中にも定住促進と教育と子育ての充実が掲げられているが、定住促進のためには、学校教育の充実が欠かせない課題と思う。教室不足の状況をいち

早く改善して、児童・生徒・保護者・学校関係者等が安心して学べる環境を作ることを強く要請する。

※その他に「復興住宅整備について」・「宅地液化対策」・「内水対策について」・「自主防災組織について」・「仮設・みなし仮設住宅入居者対策」の質問があった。



甲佐小学校校舎

一般質問

甲佐高校の存続に向けて

教育長 町の支援策に高校も一緒に取り組む
町長 甲佐高校の発展に向け力を注いでいく



宮本 修治 議員

問 特色ある甲佐高校の方向性について質問するが、甲佐高校の存続に向けての取り組みはどのように考えておられるのか。

蔵田教育長

甲佐高校のあらゆる教育活動（例えば新聞記事を教材にした教科や生徒一人ひとりに応じて学び直してできるコースなど）に町が協力し、町の支援策に学校が一緒になって取り組んでいく。また、県教育委員会の協力も得ながら支援を続けていきたい。

奥名町長

甲佐高校の存続は、町の活力の維持にも大きな影響がある。

甲佐高校の魅力化プロジェクト事業の立ち上げにより様々な議論が交わされ研究されるものと思う。今後も学校側、高校OBの方々、町等の関係者が気持ちを一つにして、甲佐高校の発展に向けて力を注いでいかなければならない。

生徒数の減少の原因は

問 甲佐高校生徒数の減少の原因はどのようなことが考えられるか。

荒田学校教育課長

3年間の甲佐高校の全校生徒数は、平成26年度は150人、平成27年度

は136人、平成28年度は131人となっているが、減少の一番の原因は平成22年度から実施された通学区域の拡大にあると思われる。

蔵田教育長

県立高校の通学区域の再編が平成22年度より行われ、その時期から急激に減少している。生徒及び保護者の熊本市への志向が強まったと思われる。

ICT導入のアンケート結果は

問 9月定例会でICT導入についての質問をしたが、その後の保護者へのアンケート調査結果はどうだったのか。

荒田学校教育課長

10月5日に小中学校（小学校5・6年生、中学生）の保護者にアンケートを実施しています。393人に対して235人（59・8%）の回答が

あり、「子どもがスマートフォンやパソコン等を利用してことで不安がない」と答えた方が全体の14%程度であった。また、「家庭内でのICT機器等の使用目的は学習である」と答えた方が全体の11%だった。

議員 保護者の方もネットなどでの不安があるのではないのでしょうか。今後、ICT導入にあたっては他の学校と連携してより良い方向にいったきたい。



県立甲佐高等学校



一般質問

人口減少の対策はいかに

町長 町にとっての有効策を見い出していく



西坂 和洋 議員

問 どの市町村も人口減少の問題をかかえておられるが、本町の人口減少に対する具体的対策は何か。

西坂企画課長

人口構造を改善する目的で若い世代の定住を図り人口増につなげる施策を実施している。

住宅団地開発において、承認団地として認定した場合、支援要綱により開発事業者へ助成金の交付を行っている。また、40歳未満で配偶者が40歳未満もしくは20歳未満の扶養親族がおられる方で、本町に新たに土地を購入し、住宅を建築された方に最高00万円の助成金を支給している。

北野福祉課長

子育て支援事業の中で平成21年度から保育料の軽減措置を行っており、熊本市及び郡内平坦4町の中では平均すると一番安い設定となっている。

問 人口増につながる今後の対策はないか。

西坂企画課長

若い世代の定住支援策の中で、土地の取得要件の緩和策として、贈与による取得及び以前からの所有地についても対象とするよう考えている。

奥名町長

現在の政策を進めながら、町にとって一番の有効策を見い出していかなくてはならない。



町税の徴収状況、不納欠損について

問 国保税を除く町税合計の近年の徴収率は高い水準で推移しているようだが、過去10年間の推移はどうか。

北畑税務課長

平成18年度98%を示し、平成20年のリーマンショックの影響もあり、低下傾向が続き平成22年度で97・2%、平成23年度から上昇傾向に転じ、平成27年度で98・7%と平成18年度を上回る状況で、国保税においても町税と同じ傾向にあり、平成18年度94・2%で平成27年度94・9%と上回っている状況である。

問 滞納繰越の徴収率は、町税で12・2%、国保税9・7%と低い、どのような徴収方法を取っておられるか。

北畑税務課長

電話・文書等で催告を行い、自主納付を促しており、長期、高額滞納者に対しては財産調査を行い、債権・不動産等の差押え、搜索などの強制徴収を行っている。搜索の過去6年間で2100万円ほどの実績となる。

北畑税務課長

平成27年度において、生活困窮者、行方不明者、時効による者、財産調査により処分の実益無しの方等、合計で67人、1170万円ほどある。

問 不納欠損処理をされたことはあるか。



熊本県南合同公売会
H28.10.16 水俣市

県道宇土甲佐線のバイパス化は

町長 県の考えを尋ねてみたい



本郷 昭宣 議員



県道宇土甲佐線（津志田地内）

問 上田口の入り口から乙女橋に向けての道路が狭い。改良等はどのようなか。

志戸岡建設課長

県に対して改良工事の要望をしてきた。今年度、用地買収をして来年度に工事着手予定である。

問 上田口地内は改良が困難でありバイパス化はできないか。

奥名町長

県の考えがあるかどうかについては、今後機会をとらえて尋ねてみたいと思う。

熊本地震・6月豪雨災害について

問 地震により家屋をはじめ土木・農業関係、その他甚大な被害が出たが、現在の復興状況について聞きたい。

志戸岡建設課長

公共土木施設では、査定件数で245件あり、199件が査定済み、残り12月中に査定を受ける。この内31件を発注している。年内に20件程度を発注する見込みである。災害復旧は、3年で完了予定である。

岡本産業振興課長

農業関係では、査定終了が76件、今後の査定が79件あるが、年明けからの発注になる。

問 田口橋の復旧状況及び歩行者の通行は。

志戸岡建設課長

県では、国との事前協議で橋脚や下部工、河床地盤の変状等の再調査を行い、工法等の検討がされる。

12月中に査定を受け町に報告がある。

歩行者については、橋げた本体に損傷があり安全確認ができず通れない状況である。

乙女小学校はいつ再開されるのか

問 乙女小学校の被災状況及び再開は、卒業式ができるか。

荒田学校教育課長

校舎について、壁にク

ラック、地盤の沈下による地面のクラックが見られ、教室等の一部、福祉ふれあいセンターの棟が地盤沈下で渡り廊下を併せて解体する計画である。

橋本環境衛生課長

体育館については、屋根の一部損傷と屋根を支える部分のコンクリートが剥落している。床を支える束にも一部損傷がある。卒業式は、3月24日であるので、体育館でできるように業者と協議していきたい。

奥名町長

課長の答弁はできる限り一生懸命頑張るという回答だったと思う。

工事については、短縮できるところは短縮し、早く元の小学校の中で授業ができるよう配慮を取りたいと思っている。

公費解体の進捗率アップを

問 公費解体が遅れているのは、新聞等で業者不足と報道されている。本町の進捗状況は。

公費解体については、熊本県解体工事業協会に一括発注し、実際の解体工事のほとんどが町内の協力業者5社が行っている。仮置き場や処分場の許容量に不安があったが、県の二次仮置き場が開設したので、解体班をさらに投入し解体の進捗を加速させたい。

※その他に「国道443号の役場から甲佐高校間の歩道整備」「及び妙見谷のトンネル拡幅について」質問があった。

12月19日全員協議会

職員の懲戒処分について

学校給食会計及び町人権教育推進協議会会計から約255万円の私的流用、横領をしたとして当時の担当者、現在、町総務課主幹（男性47歳）を12月19日懲戒免職処分としたことを町執行部より報告があった。さらに、当時の学校教育課長を10分の1の減給一カ月間、当時の社会教育課長を戒告処分とした。

議員より詳細にわたる内容の質問や意見が出され、今後、不祥事が無いようにチェック体制等に再度取り組みよう指摘された。

町は、町民の信頼回復に努め、今後の再発防止策として11月30日付で「各種団体等の会計処理に関する取扱い基準」を策定し、全職員の公金等の適正な取り扱いを徹底していくとしている。

12月28日臨時会

町長等の給料及び旅費に関する条例の一部改正について

去る12月19日付で行った職員の懲戒処分に関し、職員管理・監督責任者である町長、副町長及び教育長について給料の10分の1を一カ月間減額するための改正であり、全会一致で可決した。

議員行政視察研修報告

10月25～27日に、熊本地震及び6月豪雨災害に伴う国会への要望活動並びに新潟中越地震からの復興について新潟県長岡市旧山古志村へ行政視察研修を行いました。

甲佐町の一日も早い復旧・復興に向けて国の助成制度の新設、拡充等を「平成28年熊本地震及び豪雨災害に関する要望書」にまとめ県選出の国会議員への要望活動を行いました。旧山古志村は、震災から12年過ぎた今も復興事業に尽力されており、復興に向けて後世に伝えると同時に、地域の魅力を全国へ発信していくことが重要であるとのことでした。

本議会においても本町の復旧・復興に向け、国・県等の支援や町民皆様のご協力をいただき、町執行部とともに全力を尽くして参ります。



旧山古志村での研修風景



やまこし復興交流館

乙女橋の渋滞

津志田 石原 大ふとし 義

昨年4月の地震により、田口橋が通れなくなり、乙女橋に迂回する車が増えています。特に朝夕の通勤時間帯は乙女から白旗方面へ向かう車が渋滞し、乙女橋を渡り切るのに15分以上かかることもあります。田口地区の県道38号線は道幅も狭く、離合することができない区間もあります。

渋滞する時間帯は、子どもたちの通学の時間と重なり、渋滞している車の間を縫って通らざるを得ない状況になっており、いつ事故が起きてもおかしくありません。渋滞緩和の為の対策を取ってもらえないでしょうか。

渋滞の原因は、乙女橋と県道106号線の交差点の造りにも問題があると思います。以前は、丁字路だったので乙女方面からは右折左折関係なく青信号の時間内に進めていました。

しかし、現在は御船方面からの迂回路ができ十字路になりそちら側には直進、右折それぞれの車線があり、乙女方面からは片側一車線のままです。青信号の時間は変わっていません。乙女方面から甲佐方面へ向かう車がいる場合、御船方面からの車が立て続けに来ると、右折することができず渋滞を引き起こしています。

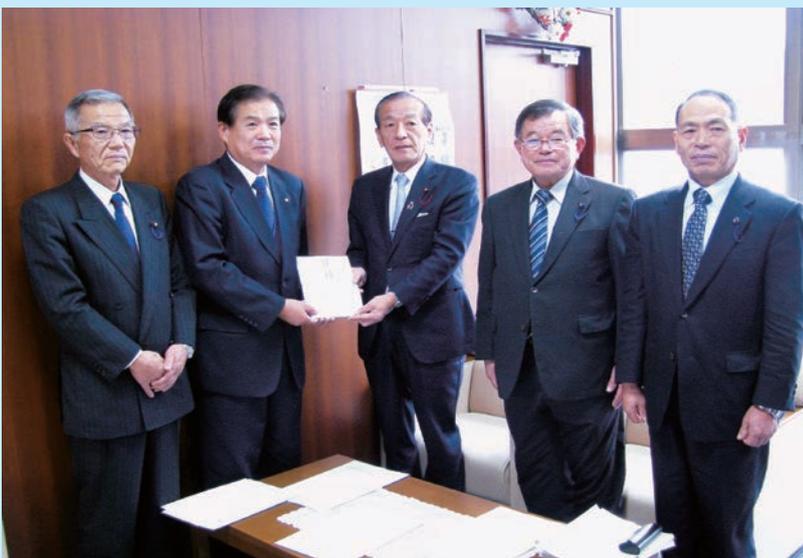
乙女方面の信号を、御船方面の信号が青から赤に変わった後も暫く青信号にすることで、渋滞緩和が出来るのではないのでしょうか。将来的には乙女橋にも右折車線を作っていただけばと思います。

大切な子どもたちの命を守るためにも検討してください。事故が起きてからでは遅いのです。よろしく願います。

熊本地震見舞金の贈呈

全国各地の町村議会議長会や町村議会等より熊本地震見舞金の贈呈がありました。

熊本地震に係る見舞金147万円の目録贈呈がありました。



左から緒方議長、師富副町長
県議長会の松尾会長、寺本副会長、田上副会長

※第1回（3月）定例会は、3月10日開会の予定です。

編集後記

昨年熊本地震が発災し、町に大きな災難をもたらした。多くの町民の皆さんも家屋に農地に店舗にと大きな被害に遭われた。歴史的な大災難でしたが、議員としてどれだけ町民の皆さんの役に立てたのか自問するところだ。

「全国町村議会議長会」編集の「議員必携」に「常に住民の中に飛び込み、住民と対話を重ね、住民の悩みと声をくみ取りながら、住民全体の福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指して、その実現に積極的に努力することが大事である。」と議員の職責について謳ってあります。

これからも町民の皆さんの信託に応え、議員としての職責を果たしていきたいと思えます。

(佐野)

議会広報編集特別委員会

委員長 荒田 博
副委員長 宮本 修治
委員 福田 謙二
委員 佐野 安春
委員 山内 亮一